

姫路市観光戦略プラン ～現状分析・課題整理～

1 プラン改定の背景

- (1) 国における背景・施策体系（出典：観光立国推進基本計画（第5次）概要）
 - ア インバウンドの戦略的な誘客と住民生活の質の確保との両立
 - (7) 局所的・地域的に生じている混雑・マナー違反等の個別課題への対応
 - (4) 地方誘客を進めるための広域的な体制の整備
 - (5) 地方誘客及び消費拡大に効果の高い観光コンテンツの充実
 - (エ) 地方部への交通ネットワークの機能強化
 - イ 観光地・観光産業の強靱化
 - (7) 持続可能性を高めるためのインバウンド市場・観光コンテンツの多様化
 - (4) 観光 DX、省力化投資等による生産性向上
 - (5) 健全な競争環境の整備
 - (エ) ユニバーサルツーリズムなど多様なニーズへの対応
 - ウ 国内交流・アウトバウンド拡大
 - (7) 休暇の分散・旅行需要の平準化
 - (4) 関係人口の創出や二地域居住の促進
 - (5) 国内・海外旅行の需要喚起に向けた機運醸成
 - (エ) 観光復興に向けた再生支援
- (2) 兵庫県における背景・戦略体系（出典：「ひょうご新観光戦略」後期重点取組【概要】）
 - ア HYOGO ブランドを核とした兵庫観光の振興
 - (7) サステナブルツーリズムの推進
 - (4) 新たな価値観・旅行スタイルへ対応した観光需要の創出
 - イ 観光を通じて地域が好循環するエコシステムの構築
 - (7) 観光地域を支える人材の確保・育成
 - (4) ストレスフリーな周遊を実現する交通アクセスの充実
 - (5) ユニバーサルツーリズムの推進
 - (エ) 観光を支える地域資源の保全と再生・活用
 - (オ) 観光地域を支える観光 DX の推進
 - ウ 誘客契機を捉えた戦略的プロモーションの展開
 - (7) 広域圏の活用と圏域内プレゼンスの発揮
 - (4) 国内観光の活性化
 - (5) 兵庫の強みや独自性を活かしたインバウンド誘客の推進

2 本市の観光を取り巻く現状

- (1) 強み・機会
 - ア 国内外に圧倒的に認知されている姫路城
 - イ 姫路城及び周辺施設における 18 歳未満の入場料無料化

- ウ 歴史文化・自然など多彩な観光資源
- エ 新幹線停車駅としての交通利便性、多方面への交通結節点
- オ 姉妹都市・姉妹城との交流拡大
- カ ホテルや宿泊施設の新規開業
- キ アクリエひめじにおける大規模な催事や MICE の開催の増加
- ク 大和工業アリーナ姫路の開館による大規模なスポーツ大会開催の受け皿の拡大
- ケ 神戸空港における国際線の定期就航
- コ 大阪湾の人工島・夢洲での統合型リゾート（IR）の開業

(2) 弱み・脅威

- ア 姫路城以外の観光資源の情報発信の弱さ
- イ 特定の時期における姫路城への観光客の集中
- ウ 早朝及び夜間の観光コンテンツ不足
- エ 短い滞在時間と観光消費額の伸び悩み
- オ わかりにくい二次交通への導線と回遊のしづらさ
- カ キャッシュレス、多言語対応など外国人観光客の受入環境充実の不足
- キ 食資源の名物化・ブランド化の不十分さ
- ク 観光産業の担い手、人材の不足
- ケ 観光データベースの集約、活用の不足

3 本市における目的

本プランは、こうした観光を取り巻く環境の変化を踏まえ、姫路城を核としながら、歴史文化、自然、食、イベント、MICE など多様な観光資源の魅力を一層高めるとともに、周遊性と滞在性を向上させることで、観光消費の拡大と地域経済の活性化を図ることを目的とする。

あわせて、受入環境の整備や情報発信の強化、兵庫県をはじめとする自治体や関係団体・民間事業者等との連携を進めることにより、国内外から訪れた人々にとって「訪れてみたい、また来てみたい」と感じられる姫路の実現を目指す。

また、持続可能性を強く意識し、地域住民への影響や観光資源への負荷分散を考えた観光地経営の設計・運営を行うことで、「量」から「質」への転換を果たすとともに、国と同様に観光を、本市経済をリードする戦略産業に位置づけることを目的とする。

4 計画期間

令和 9 年（2027 年）度から令和 13 年（2031 年）度まで（5 年間）

5 プランの位置づけ

姫路市総合計画「ふるさと・ひめじプラン 2030」における観光・スポーツ分野目標「にぎわいと感動の創出」の政策 1「おもてなし観光交流都市の推進」に係る分野別計画

6 数値目標

第 3 回検討懇話会で調整予定

7 プランの推進体制・役割

(1) 地方公共団体（姫路市）

- ア 国、県、他市等と連携及び調整
- イ 地域 DMO との協働事業の推進
- ウ 観光戦略プランの効果検証と市民や地域事業者への情報共有
- エ 各種規制との調整、各種支援措置の実施 など

(2) 地域 DMO（姫路観光 CB）

- ア 多様な地域事業者との合意形成
- イ 各種データ等の継続的な収集・分析
- ウ KPI の設定・PDCA サイクルの確立
- エ 観光資源の磨き上げ
- オ 受入環境の整備等の推進 など

8 姫路市の観光戦略及び個別施策

資料 7 「姫路市観光戦略プラン 2027-2031 骨子(案)」のとおり